

令和8年7月24日 社会福祉法人こどものいえ 双葉こども園（57-2818） 副園長 岩崎 愛実

汗ばむような日が続いていますが、子どもたちは、園庭や中庭での水遊びを満喫し、弾ける笑顔と歓声にあふれています。水分補給や休息をとりながら、元気に過ごしていきたいと思います。暑さのため疲れやすい時期です。ご家庭でも、「ご飯をしっかり食べる」「睡眠をたっぷり取る」「生活リズムを整える」などして体調管理をお願いします。

【保育目標】

- 夏の自然に親しみをもち、水や泥遊びを十分に楽しむ
- 夏の生活の仕方を見につけ、健康に過ごす
- 夏の暑さと健康について知り、こまめな水分補給をし、快適な生活を送る

【8月の予定】※7～9月は布団持ち帰りが月2回あります。

4日（火）避難訓練	13日（木）～15日（土）1号認定の園児 夏季休暇
6日（木）身体測定（2. 1. 0歳児） ふたばおはなしひろば	25日（火）ミュージック・ケア（3歳児） 26日（水）誕生会
7日（金）身体測定（5. 4. 3歳児）	27日（木）不審者訓練
10日（月）交通安全指導、布団持ち帰り	28日（金）布団持ち帰り

【8月のうた】

- ・うみ
- ・おばけなんてないさ
- ・いるかは ざんぷらこ
- ・（わらべうた）
こまんか こまんか

【9月の主な予定】

- ・5日（土）保護者会草刈り（5歳児・0歳児）
- ・9日（水）キッズハウスひろば（未就園児対象）「みんなで遊ぼう ふたばひろば」
- ・16日（水）誕生会
- ・30日（水）祖父母のつどい（3歳児）

新しいお友だちを 紹介します

ばら組（3歳児） 桃井 心陽 さん（7/13入園）

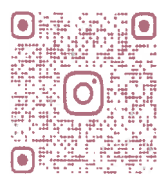
もも組（0歳児） 宇佐美 莉愛 さん（9/1入園）

よろしく
お願いします！

教育実習生が来ます。
新潟こども保育カレッジ 3年生
期間：8月31日（月）～9月5日（金）

★ Instagram はじめました！

フェイスブック、ブログよりInstagramに移行しました。教育保育の様子、給食の様子も配信しています。ご覧ください！



UTABAKODOMOJEN.KODOMONOWE

今月の歌

わらべうた♪ 「こまんか こまんか」

こまんか こまんか こまんか な～み
もちっと ふーと なあれ

※「こまんか」は九州地方の方言で「こまかい」という意味です。

保育現場体験、課題解決型職場体験として高校生、中学生が来園します。
期間：8月4日（火）、8月6日（木）～7日（金）
佐渡高校生（4名）
期間：9月2日（水）～9月3日（木）
佐和田中学生（8名）

【お知らせとお願い】

★夏用の履き物での登降園をする場合は、災害時や訓練など避難する際に上履きや靴を使用しますので、常時下駄箱には靴と靴下をご用意ください。

双葉こども園、園だより「ふたば」では、毎月の行事、歌やお知らせの他に子どもたちの今、体験している活動の様子を発信しています。今月は、避難訓練、図書館ツアー（5歳児）の様子です。

ゆり組（5歳児）は、自分の月刊絵本や好きな絵本を読んだり、生き物や遊びなど自分の興味があることを図鑑で調べてみたりと、知識を深める姿が見られました。そこで、子どもたちと保育者で図書館へ出かける計画を立てました。

楽しみにしていた6月16日（火）の「さわた図書館見学ツアー」の様子を紹介します。



図書館の仕事は、返却した本をパソコンで確認しています。「バーコードで確認できてすごいね！」



「自分の好きな本を見つけて借りることができました！」



「ゆっくり座りながら読むこと、見ること、調べることができ、図書館は楽しい所だね」

図書館の方から、図書館内を案内していただきました。

「3階は、勉強ができる部屋があるね！」「佐渡の歴史の本がたくさんあるよ」



6月25日（木）は、佐渡中央消防署の消防士2名の方が来園し、避難訓練（火災）について教えていただきました。職員訓練では、通報訓練と消火訓練の指導を受けながら行いました。園児は、職員による消火訓練の様子や消防車見学、また、3・4・5歳児はスモーク体験に参加し、煙の中での避難の仕方について体験を通して知りました。火災の時の命の守り方や消防士の職業についての避難訓練の様子を紹介します。

～消火訓練～

水消火器を使って消火の仕方を教えていただきました。



～消防士さんの方へ質問タイム～

火災の時は、みんなの命を守るために、消防車にはたくさんの装備品があることがわかりました。



～スモーク体験～

煙の中を歩く時は、低い姿勢で、鼻と口を塞ぐといいよね。



園長コラム：「これ、なあに？」から始まる生命の神秘

令和8年7月24日
園長 松野 亜希子

— 3歳児ばら組『ちょうちょの成長日記』が教えてくれたこと —

初夏の園庭や保育室には、子どもたちのたくさんの「発見」が溢れています。今年、3歳児ばら組の中庭に置かれたレモンの鉢植え。そこに産み付けられた小さな卵が、子どもたちの探究心とやさしい心を大きく揺り動かす物語の始まりとなりました。今回は、卵から幼虫、そしてさなぎから蝶へと変化していく蝶の成長をじっと見守った子どもたちの「学びのストーリー」をご紹介します。

6月23日 レモンの葉っぱに黄色いまるい小さな出会い

ある日、レモンの葉っぱに「黄色くて小さくて丸いもの」が付いているのを発見しました。なんと、ちょうちょの卵が6個！サークルタイムで「レモンの葉っぱに卵がついているよ」と発言があると、子どもたちは「どこ？どこ？」と目を輝かせて大捜索。まだ小さな命の存在に、わくわくした期待が高まります。



葉の上にチョンとついた黄色い卵



横から見ると小さな真珠のよう



みんなで夢中になって探し中！

6月26日 卵から小さな黒い幼虫へ！見る角度による新しい気づき

卵から、黒くてちっちゃな幼虫が生まれました！最初は子どもたちも「小さすぎて気づかない」くらいでしたが、見る位置や角度を変えながらじっくり観察する中で、「あ！ここに何かいる！」と新しい気づきが次々と生まれていきました。おとなでもフンなのか幼虫なのか区別が難しい！

子どもたちの声

「どうして白色と黒色なの？
（俺のフンに似せているのかな？）」

「黒いつぶつぶは…うんち??」



7月8日 ～ たくさん食べて、立派なおおむしに！「触ってみたい」から芽生える愛着

黒と白だった幼虫は、レモンの葉っぱを「食べる、食べる！」日に日に大きくなり、鮮やかな緑色の立派なおおむし(変身)になりました。「昨日よりも大きくなって！」と毎日変化に気づく子どもたち。やがて「触ってみたい！」という声がたくさん聞かれるようになりました。そっと優しく指先で触れる中で、命を愛する温かい気持ちと「やさしくしなきゃ」という思いやりが確かに育まれていきました。

はっぱをたくさん食べて緑色のおおむしに

「あ！葉っぱ食べてる！」

真剣なまなざし



きのうよりもおおきくなっている！



葉っぱを分けてくださったご家庭の皆様、ありがとうございました！



なんひきいるかな .12.3・・・



そーっと触ってみよう



【7月15日～】いよいよ「さなぎ」へ……サプライズの旅立ち準備

レモンの木の葉っぱがほとんどなくなるほど大きく育ったおおむしたちは、いよいよ「さなぎ」になる準備を始めました。ある朝保育室に入ると「あれ？ あおむしがいない!？」と大騒ぎ。実は、あおむしたちは天敵に見つからない人目のつかない場所を選んで移動していたのです。虫かごの隙間や、枝の裏側でじっとさなぎになっている姿を発見した子どもたちは「こんなところにいたの!？」と大驚き！

枝と同化し、動かずにじっと耐えるさなぎの姿から、命が次の大きなステップへ向かうための「静かなエネルギー」を、子どもたちなりに肌で感じ取っているようでした。

【7月22日】ついに羽化！命の尊さと「やさしさ」の決断

そして7月22日の朝、ついに感動の瞬間が訪れました。さなぎから美しいアゲハ蝶が誕生したのです！

生まれたての蝶は羽がまだしわしわで、ゆっくりと体を動かしています。「羽がしわしわだ!」「口がくるくる丸まっているよ!」「かわいいね」と、子どもたちは息をのむようにして夢中で見つめていました。



羽がしわしわだね、何を食べるのかな



いっぱい食べてすっかり葉っぱがなくなりました

一番最初に生まれた蝶は少し体が弱っている様子でした。それを見た子どもたちは自分たちで話し合い、「お外の自然に返してあげよう」と決断しました。「元気になってね」「がんばってね」と願いを込めて大空へ送り出す姿には、命を自分の所有物としてではなく、ひとつの尊重すべき存在として愛おむ成長が溢れていました。まだ保育室にはいくつかのさなぎが残っており、子どもたちは「明日は生まれるかな？」と毎朝胸を躍らせて登園しています。

五感を通じた「アクティブ・ラーニング」と心を育む体験

図鑑の写真や動画で知識を得ることも大切ですが、**実体験に勝る学びはありません。**

卵から蝶になるまでの全プロセスをすぐそばで共に過ごしたこの体験は、子どもたちにとって一生忘れられない夏の宝物になったと確信しています。

実物を目の前にしたとき子どもたちは、

- ・ レモンの葉の「におい」
- ・ そっと指で触れたときのおおむしのソフトな「手ざわり」
- ・ 「どこに隠れたんだろう?」と自発的に探す「探究心」と「発見のよろこび」
- ・ 「フンをした!」「うまれたては羽がしわしわなんだ!」という「五感を通じた発見」
- ・ 図鑑を手に、アゲハの中でもさらに種類を調べる「もっと知りたい」という好奇心

といった、心の深い部分を揺さぶられる体験を重ねました。これこそが、生きる力の根幹となる「アクティブ・ラーニング（主体的な学び）」であり、生き物を感じむ「豊かな感性と非認知能力」の源泉です。

保護者の皆様もぜひご家庭で、「今日のちょうちょ、どうだった?」とお子さまに尋ねてみてください。小さな観察者たちの口から、きっと大人も驚くようなキラキラした物語が聞こえてくるはずです。

追伸 おとなも「わくわく」

実は、子どもたちだけでなく私たち保育者も、あおむしたちの成長になっていました。出勤したとき、退勤するとき、「今日はどうかな?」と毎日入れ替わり立ち替わり立ち寄り、その成長を心から楽しみにしてきました。

「自然界でも元気に生きるんだよ」そんな願いを込めながら、子どもたちと一緒に命の神秘に感動できたこの初夏を、心から愛おしく思います。